

取扱説明書

品番：FFI用

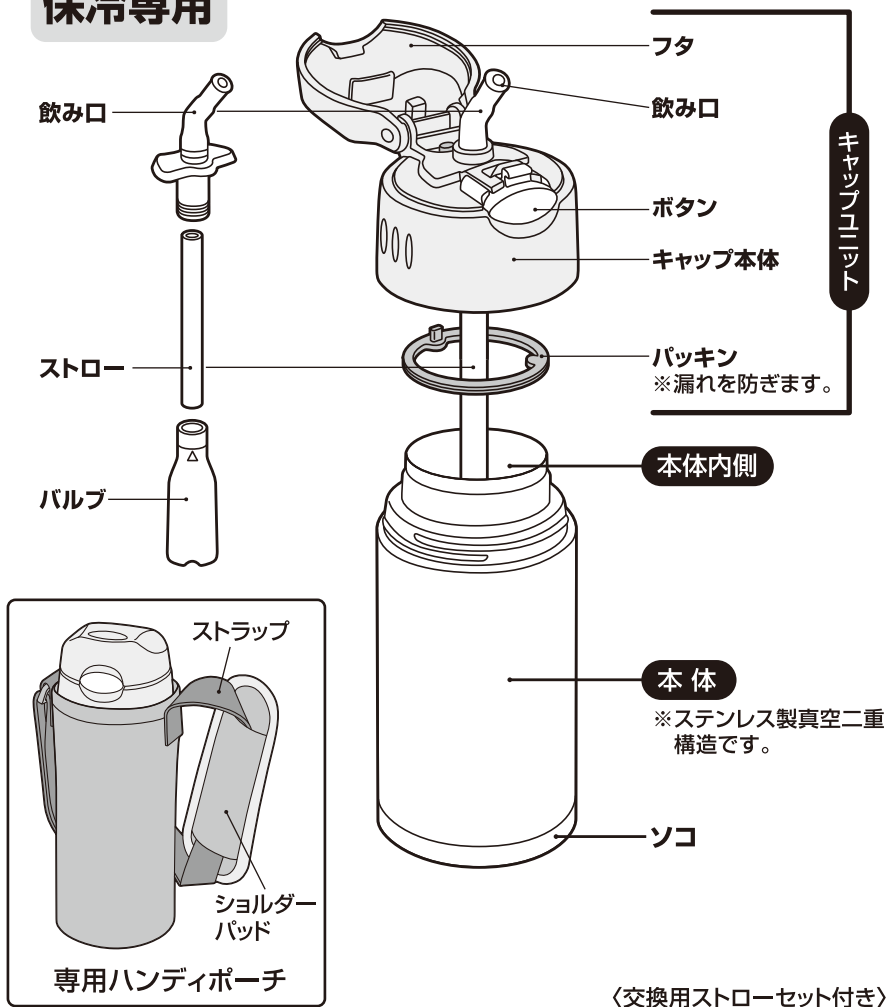
このたびはサーモス・真空断熱ストローボトルをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

家庭用

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。

保冷専用

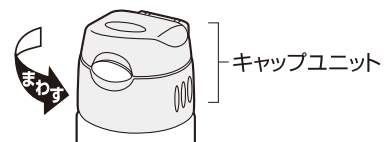


ご使用方法

ご使用前にP.7「お手入れ方法」を確認の上、キャップユニット・本体内側を十分に洗ってください。

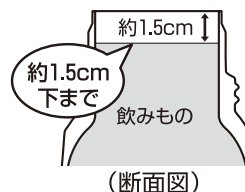
① キャップユニットをはずす

キャップユニットを矢印の方向にまわしてはずします。



② 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。
入れすぎると、キャップユニットを閉めたときに、飲みものがあふれ出る原因になります。

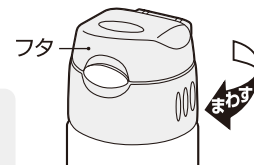


👉 本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷すると保冷に効果的です。

③ キャップユニットを閉める

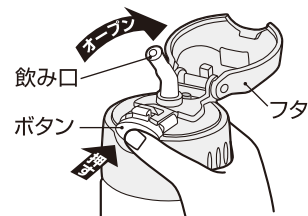
フタを閉めた状態で、キャップユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めます。

キャップユニットを閉める際、ストロー内に水分が残っていないことを確認してください。
※ストロー内に水分が残っていると、フタを開けたときに飲み口の先端から飲みものが出てくる場合があります。



④ 飲みものを飲む

- ① 本体を立てた状態で、ボタンを押す。
フタが開き飲み口が出てきます。
- ② 飲み口から飲みます。



⑤ 飲み終わったら

本体を立てた状態にして、フタを“カチッ”と音がするまで押して、確実に閉めます。



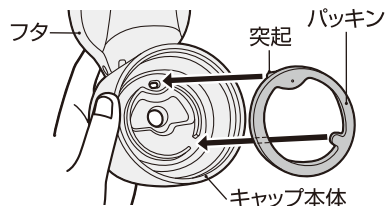
飲み口・ストロー・バルブ・パッキンの取り付け方

以下の手順で取り付けてください。取り付け後は、キャップユニットが正常に動くことを確認してください。

※正しく取り付けられていないと、漏れやフタの作動不良、飲みものが飲めないなどの原因になります。

① パッキンをキャップ本体に取り付ける

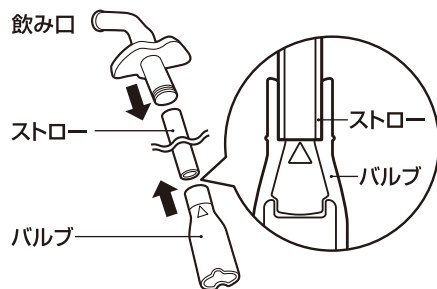
フタを開けた状態で、パッキンの突起をキャップ本体の穴に差し込み、全周にわたって確実に取り付けます。取り付け後はパッキンが浮かないように指でまんべんなく押しします。



② ストローに飲み口とバルブを取り付ける

ストローに飲み口・バルブをそれぞれ確実に差し込みます。(ストローはバルブの△の位置まで差し込みます。)

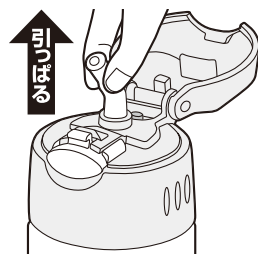
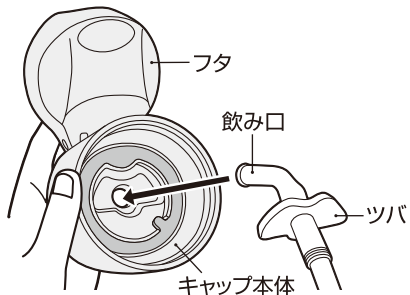
※飲み口が破損していないことを確認してください。



③ 飲み口をキャップ本体に取り付ける

① 図のようにキャップ本体と飲み口のツバ位置を合わせ、飲み口の先端をキャップ本体の下から穴に通します。

② キャップ本体と飲み口のツバとのすきまがあかないように、飲み口を持って、確実に引っ掛ります。



表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

	警告 死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。		注意 軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。
--	--------------------------------------	--	--

■図記号について

	禁止 してはいけない内容を表しています。		必ずおこなう 必ず守りいただく内容を表しています。
--	-----------------------------	--	----------------------------------

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

警告

保護者の目の届かないところで使用させないでください。また、乳幼児のいたずらには十分に注意してください。



*取りはずした部品を誤飲して窒息する原因になります。また、けがの原因になります。

禁止

乳幼児・小学生のお子様は、ポーチのストラップを首からかけないでください。

*ストラップが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。



禁止

熱い飲みものは入れないでください。

*熱い飲みものが直接口内に入るため、やけどの原因になります。

*内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、やけどやけがの原因になります。

禁止



ポーチのストラップをかけた状態で運動したり、遊んだりしないでください。

*ストラップが他のものに引っかかり、窒息やけがの原因になります。

禁止

飲み口をかみ切らないよう注意してください。

*誤飲して窒息の原因になります。また漏れてものを汚したり、フタの作動不良の原因になったりします。

必ずおこなう

注意

飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。

*けがなどの原因になります。

禁止

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

*やけどや変形・変色の原因になります。

禁止



キャップユニットは専用の飲み口・ストロー・バルブ・パッキンを正しく取り付けください。【P.3】

*漏れてものを汚す原因になります。またフタの作動不良の原因になります。

必ずおこなう

キャップユニットは確実に閉めてください。【P.2】

*漏れてものを汚す原因になります。

必ずおこなう

安全上の注意

飲みものの量は図の位置までにしてください。

- *入れすぎると、キャップユニットを開めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。また使用中に漏れて、ものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう



飲みものは早めにお飲みください。

- *腐敗の原因になります。 ❶ 必ずおこなう

飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

- *腐敗や変質の原因になります。また腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。 ❶ 禁止

次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス・炭酸飲料
 - *内圧が上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。 ❶ 禁止
- 牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの
 - *腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧上がり、キャップユニットが開かなくなる・飛び出す、飲みものがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。 ❶ 禁止
- お茶の葉・果肉
 - *すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 禁止



製品には必ず専用の部品を取り付けてください。

- *漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

- *けがや漏れてものを汚す原因になります。また保冷不良やキャップユニットの故障の原因になります。 ❶ 禁止



お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

- 煮沸はしないでください。
 - *熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 禁止
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
 - *熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 禁止
- 飲み口・ストロー・バルブを組み立てた状態でお手入れしないでください。
 - *ストロー内に残った洗剤などが使用時に飲み口から出て、ものを汚す原因になります。 ❶ 禁止



改造・分解・修理は絶対しないでください。

- *故障・事故の原因になります。(修理はお買い上げの販売店、またはサーモスお客様相談室にご相談ください。【P.10】) ❶ 禁止



大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。

- *本体口元の止水部が変形して、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう

フタを開けた状態でキャップユニットの取り付け、取りはずしはしないでください。

- *変形・破損して、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 禁止

安全上の注意

ポーチのストラップを持って振りまわしたり、強く引っばったりしないでください。

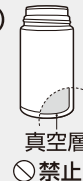
- *振りまわすなどして周囲の人と接触した場合、けがの原因になります。また強く引っばると、ストラップが破損する原因になります。 ❶ 禁止

本体に飲みものを入れる際は、転倒に注意してください。

- *飲みものがこぼれ、ものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう

真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しないでください。

- *真空層の水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良の原因になります。 ❶ 禁止



バッグなどに入れる際は、バッグの中身などでボタンが押されないように注意してください。

- *漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう

使用上のお願い

みそ汁・スープなど塩分を多く含んだものは入れないでください。

- *本体内側は18-8ステンレス鋼を使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

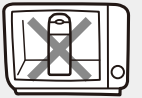
お出かけ前に、製品を逆さにして漏れないことを確認してください。

- *漏れた場合はP.9「こんなときは…」の項目をお確かめください。

バッグなどに入れる際は、万一の漏れを防ぐために製品を縦置きにしてください。

電子レンジに入れしないでください。

- *金属部がスパークして、電子レンジが故障する原因になります。 ❶ 禁止
- *熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。 ❶ 禁止



キャップユニットを取り付けるときは、ストロー内に飲みものが残っていないことを確認してください。

- *本体に飲みものが入っている状態でキャップユニットを取りはずすと、ストロー内に飲みものが残ることがあります。そのまま取り付けると、ストロー内の飲みものが空気で加圧され、フタを開けたときに飲み口からふき出て、ものを汚す原因になります。 ❶ 必ずおこなう



製品の構造上、温度が高いとき、キャップユニットに水滴が付く(結露する)ことがありますのでご注意ください。


強い振動や本体内部の温度、圧力の変化などにより本体内部の空気が膨張し圧力が高まると、フタを開けた時に飲み口の先端から飲みものが出てくる場合がありますのでご注意ください。

保冷性能が低下したときは使用しないでください。

お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。
- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は、下表に従って台所用漂白剤(目安: 30分)を使用してください。
- 長期間で使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
キャップ ユニット	フタ ・ キャップ本体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤 <p>きれいに洗い、水分を拭き取って、フタを開けた状態で十分乾燥させてください。</p> <p>お手入れの後は、飲み口・ストロー・バルブ・パッキンを正しく取り付けてください。【P.3】</p>
	飲み口 ・ ストロー ・ バルブ ・ パッキン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤 <p>使用后すぐにキャップ本体から取りはずし、きれいに洗い、十分乾燥させてください。飲み口・ストロー・バルブはそれぞれの部品をはずし、ストロー専用ブラシできれいに洗った後、内側を強めの水道水で洗い流し、十分乾燥させてください。</p>
本体	内側	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤 <p>ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分乾燥させてください。</p> <p>酸素系漂白剤を使用する際、キャップユニットは取り付けないでください。 ※本体の内圧が上がり、キャップユニットが飛び出すなど危険です。</p>
	外側	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流水洗い ✕ つけ洗い ✕ 漂白剤 <p>きれいに洗い、よく振って水を切り、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。</p>
ポーチ		水または30度以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 煮沸はしないでください。
*熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。 ⊙ 禁止
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
*熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ⊙ 禁止
- 飲み口・ストロー・バルブを組み立てた状態でお手入れしないでください。
*ストロー内に残った洗剤などが使用時に飲み口から出て、ものを汚す原因になります。 ⊙ 禁止
- 本体は水中に放置しないでください。
*本体とソコとのすきまに水が浸入し、さびや保冷不良などの原因になります。 ⊙ 禁止
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
*傷やさびなどの原因になります。 ⊙ 禁止
- 本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。
*さびや保冷不良などの原因になります。 ⊙ 禁止
- 本体外側は漂白剤を使用しないでください。
*塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。 ⊙ 禁止

こんなときは・・・

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
キャップユニットから漏れた	キャップユニットが確実に閉まっていない	キャップユニットは確実に閉めてください。 【☞P.2③】
	飲み口が確実に取り付けられていない	飲み口は確実に引っぱって取り付けてください。 【☞P.3③】
	飲み口の内部に飲みものが残っている	飲み口に飲みものが残っていないことを確認してからフタを閉めてください。
	飲みものを入れすぎている	飲みものは規定の量までにしてください。 【☞P.2②】
	パッキンがはずれている・確実に取り付けられていない	パッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。【☞P.3①】
	パッキンや飲み口が消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。 【☞P.10】
飲みものが飲めない	ストロー・バルブがはずれている	ストロー・バルブは必ず取り付け、それぞれ確実に押し込んでください。【☞P.3②】
飲みものが残る	ストローにバルブを差し込みすぎている	ストローはバルブの△の位置まで差し込んでください。【☞P.3②】
本体内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。【☞P.7】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、キャップユニットを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
保冷が効かない	十分に冷たい飲みものを入れていない 飲みものの量が少ない	冷たい飲みものを入れてください。また、あらかじめ本体内側を予冷しておくとお効果的です。氷や飲みものの量を多くすると効果的です。
異臭がする	本体内側やキャップユニットに汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤を使用してください。【☞P.7】
飲み口・ストロー・バルブ・パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	漂白剤を使用してください。【☞P.7】 汚れ・カビが落ちない場合は廃棄し、別売の交換用部品をお買い求めください。 【☞P.10】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、サーモスお客様相談室にご相談ください。
【☞P.10】

交換用部品のご案内

■本製品の各部品は下表の交換用部品名で別売しています。

各部のなまえ	交換用部品名
パッキン	FEQパッキン
飲み口	FFI飲み口
飲み口 ストロー バルブ	FFI-400ストローセット (飲み口・ストロー・バルブ各1個)
キャップユニット	FFI-400キャップユニット (ストローセット・パッキン付き)
ポーチ	FFI-400Fポーチ

◆キャップユニット・パッキン・飲み口・ストロー・バルブは消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面にザラつきや損傷のある場合は、交換してください。

【交換用部品のお求め方法】

品番・色名・交換用部品名をご確認の上、下記方法でお求めください。
(品番・色名は製品の底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ……………<http://www.thermos.jp/> にアクセスしてください。
(取り扱い部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店……………サーモス製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ サーマスお客様相談室 …お電話でお申し込みください。

●お預かりした個人情報、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。
お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に開示提供することはございません。
なお、お客様の個人情報はサーモス(株)にて管理させていただきます。

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

サーモスお客様相談室
TEL. 0256-92-6696

■受付時間：月～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
(9:00～12:00、13:00～17:00)
〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地
サーモス株式会社 お客様相談室

ホームページアドレス <http://www.thermos.jp/>

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。